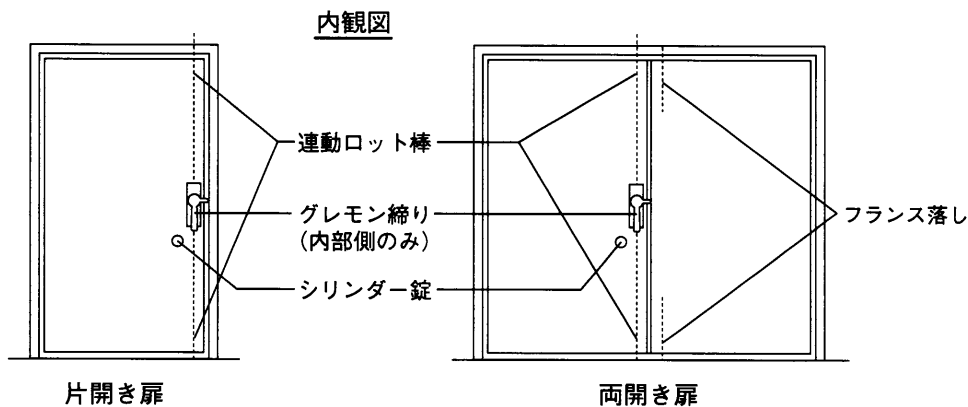


開き扉の取扱い

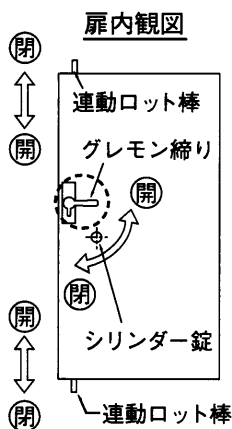
(住宅防音)

グレモン締り (内部側のみ) により遮音性能を上げた防音扉です。

ドアクローザの ■使用上のお願い、■速度調整のしかた、については、別紙 **ドアクローザの取扱い** をご覧ください。



グレモン締りの操作



グレモン締りは、扉の内部側に取付けられており、扉の上下には連動ロット棒が付いています。

次の順序により操作をしてください。

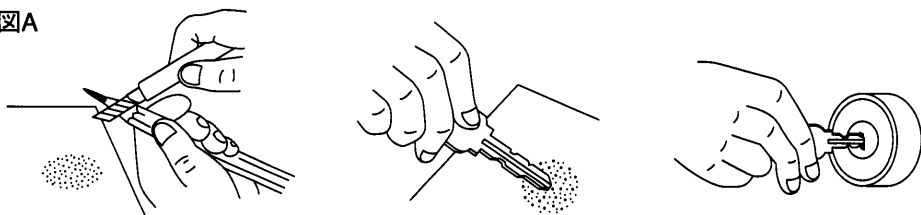
- ① 下向きとなっているハンドルを上へ90° (左右は扉の開き勝手によって違います) 回すことにより圧着が解除され、扉が開けられる状態になります。
- ② 通常の扉操作と同じですので、シリンダー錠の把手を持って扉の開閉をおこなってください。
- ③ 扉の閉鎖時には、前記とは逆にハンドルを下へ90° 回すことにより、扉が締めつけられます。

錠前

■ 日常の簡単なメンテナンスの方法

- ① カギの抜き差しがスムーズでない場合には、鉛筆の芯 (黒鉛) を削って粉にしたものをカギにまぶして、何回かカギ穴に差込んでください (図A)。
- ② 錠前がガタつく場合には、錠前の取付用のビスをドライバーで適度に締付けてください。

図A

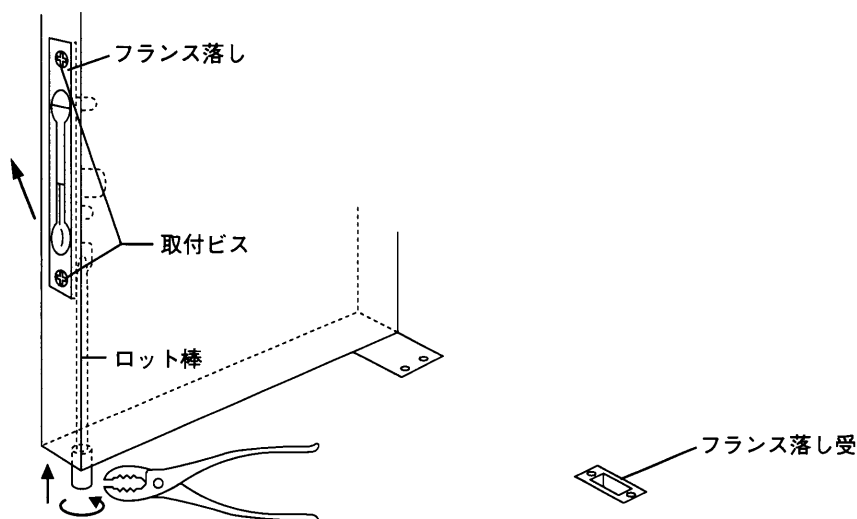


お 願 い

- ❶ 鍵および鍵穴には、油をささないでください。
- ❶ 施錠した時は、念のために握玉を動かして施錠状態を確認してください。

フランス落とし

- ① 両開き扉の場合には、片側の扉を固定する金具（フランス落とし）が上下に取付けられています。
使用中、破損やゆるみが生ずると扉の機能に支障をきたすことがあります。
- ② フランス落としを、動かしても扉の上下がスムーズに開かない場合は、ロット棒のゆるみが原因ですので、フランス落としの取付ビスを取りはずし、フランス落としを手前に引きながら10mm程度引上げて扉を開いてください。
- ③ 扉を90°まで開き、フランス落としをもと通りに戻して取付け、ロット棒をプライヤーなどで締め付けてください。



ドアクローザ（自閉装置）

開けた扉を自動的に閉める装置です。

- ① ドアクローザはストップ付きとストップ無しの2種類の商品があります。
(ストップ付きは、扉を90°開いた時に停止の状態になります。)
- ② 同室内で他の開口部（窓など）が開いていると、風の流動により閉鎖スピードが早くなることがあります。

お 願 い

- ❶ 開閉操作はゆっくりおこなってください。
手を挟むなど事故やけがにつながる恐れがあります。
- ❷ 扉と枠のあいだには物を入れないでください。
物を入れたりすると扉に曲りが発生し、施錠が悪くなったり、扉が完全に閉まらなくなったりなどの不具合が発生します。
- ❸ 扉が枠に当たるなどの不具合が発生したら、丁番（またはピボットヒンジ）の取付ビスを締め直してください。

△ 注 意

- 1、風の強い時は、扉の開閉に注意してください。
風にあおられてドアが急激に閉まるなどして、思わぬ事故やけがにつながる恐れがあります。